

日本繊維機械学会 SDGs アワード 受賞者について

一般社団法人日本繊維機械学会
SDGs 委員会

SDGs への取り組みが重要視される中、当学会は他学会に先駆け 2019 年に SDGs 委員会を立ち上げ、「Textile Future 2030」と称し、当学会の活動全体を SDGs の目標 17 項目に関連付けを行い、それぞれの目標に向かって積極的に取り組んでおります。

本年次大会では、学会の SDGs への取り組みをより明確にし、加速化するために会員各位の繊維および繊維機械に関わる SDGs の取り組みを紹介する「SDGs セッション」を新設しましたところ、おかげさまで 20 件もの発表を得て盛会裏に終えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回は SDGs 達成に貢献する優れた発表に対し、「SDGs アワード」として表彰する制度を設けました。10 名の審査委員による厳正な審査の結果、賞に応募されました 10 件の講演の中から次の 2 件を選出いたしましたので、ここに発表いたします。

発表番号： S1-03

題 目：「水平リサイクルカーペット ECOS の開発」

発表者：住江織物株式会社 清水 幸子

発表番号： S1-08

題 目：「機能性ナノファイバー不織布を利用した「安全な水」の確保への取り組み」

発表者：名古屋大学 向井 康人